

## 行事報告

## しあわせの村体験合宿を終えて

兵庫頸髄損傷者連絡会 島本 卓

去る6月18日(土)、19日(日)の1泊2日で「しあわせの村体験合宿」(以下、合宿)と「BBQ交流会」を行いました。実行委員として参加するのも3回目。企画から準備にも熱が入りました。

さて当日の朝、9時11分に姫路駅を出発。予定より1本早い電車に案内されたことで、大阪駅での学生さんとの待ち合わせに合流できず、1人で紀州路快速で紀伊駅に向かいました。あんなにシミュレーションしたのに、出だしで予定が崩れた。



姫路から紀伊へ

今年は、和歌山在住の上田さんに参加を打診しました。初参加である上田さんのサポートに、私と学生さんの2人で迎えに行きました。紀伊駅で学生さんと合流しました。大阪駅からギョウギョウ詰めめの電車で1時間半もいると体温がこもっていました。紀伊駅についてすぐにUターンして、三ノ宮駅を目指しました。三ノ宮駅で、別の学生さんと待ち合わせ、合流しました。いざ4名で「しあわせの村」へ。時間とともに、上田さんの緊張も緩んできていました。

毎回、私の原稿に書いていることになりましたが、私もこの合宿がスタートだったんです。もちろん個々の不安、課題は違います。頸損者同士が一緒に考え、支え合うことの大切さ、これが「セルフヘルプ」なんだと感じます。

合宿の魅力のひとつは、当日参加していた実行委員メンバー4人が自立生活をしていることです。住んでいる地域は違っていても、経験、課題への

工夫や対策が聞ける機会だと思います。

宿泊前には、今年もバーベキューを行いました。6月開催ということもあり、毎年雨に心配しながら進めていますが、今年は天気が味方をしてくれました。準備もしやすく、食材購入などにたくさんの協力をしていただけました。感謝の気持ちでいっぱいです。

参加者みんなで食べるバーベキューは美味しい。いろんな話で盛り上がっていました。



美味しいお肉！

集合写真を振り返りながら見ていると「仲間」とつながってるんだと感じます(写3)。



バーベキュー交流会 集合写真

今年もグループルーム2室とツイン1室を使って、車椅子6名、介助者3名、学生5名の計14名で

宿泊体験を行いました。

この合宿では、「外泊したいけど、できるかな?」、「介助者がいないんだけど」と不安に考えてる方に是非参加していただきたいです。

去年は移乗のために「トラベルトラック」を準備していましたが、今年はマンパワーで移乗を行いました。以下の写真がその様子です。



トランスファー



側臥位で除圧中

みんなで一緒にやりながら、考え、工夫しながらやっていくことは大きな経験になります。普段、他の方の介助を見ることなんかないと思います。どんな介助を必要としているのか、どのように介助内容を伝える工夫をしているのかなど、個々によって違うのが当たり前です。見たり聞いたりしたいですね。その中で、自分で取り入れられることもあるはずです。グループルームを使って行うポイントがそこなんです。

普段から入っている介助者さんとの参加や、介

助者さんではなく学生さんに呼びかけ、一緒に参加してもらっています。将来「社会福祉士」「理学療法士」「作業療法士」を目指している学生さんの協力を得られています。また私は、2015年の合宿から学生さんと参加しています。介助者さんじゃなく、学生さんと参加することで、自らのコミュニケーション能力を知る機会にもなると思ったからです。まさに私は課題だけであることがわかりました。人に伝えることが、こんなにも難しいんだと感じました。この経験ができたことで「介助者」の大切さ、支えられていることを深く考えることができました。

おわりに

まだまだ多くの頸髄損傷者が、地域、施設におられます。一人で悩んで「不可能」と諦めてしまっている方が多いと思います。でも誰もが経験してきたことでもあるはず。自信を持つことも大切だと思いますが、それよりも自分の思いを持ち続けることが重要だと思いました。

失敗を考えるより、楽しんでいる自分を描いてほしい。もちろんできないと思ってたことができた時は、最高に嬉しいです。一緒に考えながら、一緒に笑いたいと思います。

「ひとりじゃない」だからと伝えたい。

来年も企画していきますので、是非参加お待ちしております。



参加者の皆さん、学生支援者のみなさん、本当にありがとうございました。